

平成27年度全国麦作共励会における九州農政局管内からの受賞者の紹介

【農家の部】

全国米麦改良協会会長賞 ふくざわのうえんかぶしきがいしや **福澤農園株式会社（福岡県嘉麻市）**

○ 農家の経営概況

福澤農園株式会社は、持続的な経営を目指し、代表取締役の古賀氏が実父から経営を引き継ぐ形で平成24年に農業生産法人に移行しており、地域の土地利用型作物の中核的な担い手となって大規模経営を展開しています。また、代表取締役の古賀氏は、福岡県女性農村アドバイザーとして、地域の女性農業者の代表としても活躍しています。

○ 麦の作付概況

平成27年産の麦の作付面積は2,001a（小麦1,366a、二条大麦635）で、自宅付近に麦作を集約し、大きく2団地を形成しています。圃場は畦畔の除去による大区画化を図り作業の効率化と自家施工の本暗渠等による排水対策の徹底、基本技術の励行による収量・品質の向上、大型機械一貫作業による省力化と生産コストの低減を実践しています。

○ 技術面の特色

嘉麻市は鉾害復旧田や本暗渠が未整備な圃場が多く排水条件の悪い地域です。麦作付圃場は暗渠未整備の圃場が多く存在していたため、トレンチャーによる溝掘りとコルゲート管及び籾殻の埋設による本暗渠を自家施工で実施しています。自家施工による本暗渠は麦の作付圃場のおよそ半分となり、麦の作付圃場の全てに整備された状況となっています。

作業機械にも工夫を凝らし、耕耘機を改造した麦踏機により踏圧作業や土入れ作業をスムーズに行うよう従来のロータリーカルチを改造し、カルチ爪の前方に硬くなった土に切れ込みを入れる爪を取り付けることにより、効率良く土入れ作業できるよう工夫がされています。

○ 収量・品質の改善

特に当地域は排水条件が悪く、県内においても収量の低い地域でありながら、10a当たりの収量は、小麦「チクゴイズミ」で368kg（福岡県27年産小麦平均収量（304kg））、二条大麦「はるしづく」で307kg（福岡県27年産二条大麦平均収量（235kg））、で県平均収量を上回った水準を実現しています。また、品質面においても、本年、生育期間の降雨、日照不足、出穂後の高温による充実不足が多い中で、チクゴイズミ1等100%（福岡県27年産平均1等99.9%）、はるしづく1等100%（福岡県27年産平均1等98.3%）と高品質の麦づくりを実現しています。

○ 労働時間・コストの削減

10a当たりの所要時間は約4.33時間（福岡県平均6.02時間）であり、農地集積と併せて大型機械化一貫体系により省力化に取り組んでいます。また、雑草対策として、播種前処理、播種後土壌処理剤を改善することで、生育期間中の除草剤処理の労働時間の削減や資材費軽減につなげており、さらに低コスト肥料の導入や農機具の適切な保守管理による耐用年数の延長、中古機械を活用することによりコストの低減が図られています。

○ 今後の取組について

今後は、農地中間管理事業を活用して条件の良い農地を集約するとともに、労力確保のための雇用導入も進めるなど、持続的で更に効率の良い土地利用型経営を目指しています。